

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 7 部門第 4 区分
 【発行日】平成 23 年 9 月 1 日 (2011.9.1)

【公開番号】特開 2008-289329 (P2008-289329A)
 【公開日】平成 20 年 11 月 27 日 (2008.11.27)
 【年通号数】公開・登録公報 2008-047
 【出願番号】特願 2007-134385 (P2007-134385)
 【国際特許分類】

H 0 2 K 1/18 (2006.01)

【F I】

H 0 2 K 1/18 A

【手続補正書】

【提出日】平成 23 年 7 月 19 日 (2011.7.19)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

モータの積層されたロータコアの端部に配設され、前記ロータコアを支持するエンドプレートにおいて、

内周部から外周部に向けてテーパ角度を有し、前記外周部の押圧によって前記テーパ角度を変化させて積層された前記ロータコアを両側から挟み込み、カシメピンによりカシメ固定されたことを特徴とするモータのエンドプレート。

【請求項 2】

前記エンドプレートは、テーパ面を備える、ことを特徴とする請求項 1 に記載のモータのエンドプレート。

【請求項 3】

モータの積層されたロータコアの端部に配設され、前記ロータコアを支持するエンドプレートにおいて、

内周部から外周部に向けてテーパ面を有し、前記ロータコアを両側から挟み込み、前記テーパ面と前記ロータコアとの隙間がなくなるまで前記外周部を押圧して、カシメピンによりカシメ固定されたことを特徴とするモータのエンドプレート。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

上記課題を解決するため請求項 1 に記載の発明は、モータの積層されたロータコアの端部に配設され、前記ロータコアを支持するエンドプレートにおいて、内周部から外周部に向けてテーパ角度を有し、前記外周部の押圧によって前記テーパ角度を変化させて積層された前記ロータコアを両側から挟み込み、カシメピンによりカシメ固定された構成とした。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 1 0 】

請求項３に記載の発明は、モータの積層されたロータコアの端部に配設され、前記ロータコアを支持するエンドプレートにおいて、内周部から外周部に向けてテーパ面を有し、前記ロータコアを両側から挟み込み、前記テーパ面と前記ロータコアとの隙間がなくなるまで前記外周部を押圧して、カシメピンによりカシメ固定された構成とした。